

国立スポーツ科学センター（JISS） オプトアウトにより実施する研究

研究課題名	大会開催地とコロナ禍がオリンピック・パラリンピック出場選手に与えた心理的影響について
倫理審査委員会承認番号	2022-056
研究開始日	2023年3月2日
研究終了日	2024年3月31日
研究目的	東京・北京オリンピック・パラリンピックに参加したアスリートは、コロナ禍と開催地によってパフォーマンスに何らかの影響を受けたことが予測された。このことから、開催地（自国または他国）やコロナ禍が与える心理的な影響があることが予想され、本調査はこの影響について詳しく分析することを目的としている。
研究対象者	東京・北京オリンピックおよびパラリンピック出場者
研究概要	対象者は、「東京オリンピック・パラリンピックのメンタル面に関するアンケート」に回答した74名と、「北京オリンピック・パラリンピックのメンタル面に関するアンケート」に回答した40名である。収集したデータは回答者が特定できないように氏名が匿名加工を施している。回答内容は基本情報、自国開催がパフォーマンスに与えた影響について（東京大会）、大会期間中のコロナ対策による行動制限（北京大会参加者）がパフォーマンスに与えた影響について（1～7点のうち該当する数字を選択）、コロナ禍がパフォーマンスに与えた影響について（1～7点のうち該当する数字を選択）、試合時の観客の様子について、JISSの心理サポートの利用について、に関する内容であった。データ分析は、統計処理によって自国開催、コロナ禍が与えた影響の傾向を明らかにしておく。
研究に用いる情報の種類	過去の大会の参加経験、年齢、性別、競技種目
研究の資金源 研究に係る利益相反及び 個人の収益	本研究に係る利益相反や個人の収益はありません。
研究責任者	立谷泰久/スポーツメディカルセンター
研究分担者	早川琢也/スポーツメディカルセンター、實宝希祥/スポーツメディカルセンター、近藤みどり/スポーツメディカルセンター、高橋由衣/スポーツメディカルセンター、柄木田健太/スポーツメディカルセンター
問合せ先	立谷泰久・スポーツメディカルセンター・03-5963-0237 yasuhisa.tachiya@jpnssport.go.jp